

## 【めむろ未来ミーティング日程 16】

令和8年1月21日（水）

13:30～15:02

■参加者 3人

■芽室町 町長、副町長、  
教育推進課長、生涯学習課長  
魅力創造課参事、農林課長、  
環境土木課長、政策推進課長

■記録 政策調整係

## ■対応・検討が必要な事項

なし

- 1 開会
- 2 町長挨拶
- 3 町からの説明事項
  - 資料1 芽室公園 Park-PFI
  - 資料2 都市公園ストック再編計画について
  - 資料3 新嵐山スカイパークについて
- 4 意見交換

(1)資料1・2についての意見交換

## 【参加者】

都市公園再編計画や新しくできるビジターセンターの話などがあったが、プールの後ろに空きスペースがあるが、今後に向けて何か計画をしているのか。

ショップやビジターセンターについては令和10年にオープンと新聞報道で見たが、物価高騰が進んでいる中で予算を組んでいると思うが、今後さらに物価高騰が進み価格が変わった場合の対応はどう考えているのか。

公園五十数か所を地域の特性によって5つのタイプに変えていくということで、手直しするのか新しくするのか、なくしてくつろぐだけの場所にするのかという点もあると思うが、それに合わせて、公営住宅も西町や花園町など相当老朽化していて、入居者が減って、

入居者がいるのかどうかも分からないような状況。おそらくそこを出られないという方もいると思うが、町民重視で考えると、公園の設備と一緒に住宅環境も改善していないと厳しいのかなと思う。町の再生計画を立てる中に、公園と一緒に住環境の整備についてどのような計画と進捗があるのかお聞かせいただきたい。

## 【町長】

プールの跡地はまだ確定しているわけではないが、レバンガ北海道が道内全ての市町村にバスケットコートを作りたいという意向があり3×3のコートを整備したいと考えている。まだ構想段階なので確定ではないが、そういった活用を考えている。いずれにしても、元々運動公園ということもあったので、スポーツを通じて集客ができればと考えているところ。

物価高騰対策はおっしゃるとおり。物価高騰率を盛り込んだ試算。負担上限は5億円と決めているので、それを超えた場合は民間の負担と考えていきたい。

公園については、公園のあり方を機能として色分け、分類する。緑地型であれば遊具をどんどん入れるということはないし、一方で子どもが多い地域やこれから多くなるような地域は児童公園的な遊具に力を入れるなど、予算配分や目的が変わってくるので、そういう色分けをしていきたいというのが今回の機能分け。その時に、公営住宅も含めた住環境はそれぞれの地域で変わっていく部分もあるので、しっかり見通してやっていかなければならない。芽室町は転入者数が転出者数を上回る社会増が実現した時期もあり、市街地に住宅が建ったりもしているが、限度もあり、公営住宅の跡地を宅地化した時にどこまでニーズがあるかは微妙な感じになってきている。数年前であれば結構売っていたし、鉄南地区にも民間の方々が分譲した家がすぐ売れたとかそういう状況があったのだが。ただ、まだまだもう少しニーズはあると思っている。町の土地として持ち続けることはあまり考えていない。西園町や西町の公営住宅は面積もかなり広い。活用についてはこれからだが、そういう発想。「人が住んでいないようだけど壊さないのか」というところもあると思うが、長屋に誰か一軒でも入っていると取り壊せない。全部がいなくなっているということが意外とない状況。役場から

移転も促したりはしているが、今のところが良いという方もいらっしゃるし、住宅が変わることで家賃が高くなるので今のところにいたいという方もいる。住んでいる人がいなくなれば解体していこうと思っている。おっしゃる通り、更地にした時の土地利用計画みたいなものを町として考えていかなければならない。公共用施設や土地になるかということそれは違うかなと思う。人口減少は間違いないので、それに対応して必要なニーズ分を開発するといった発想になる。

#### 【参加者】

町で抱える必要はないというのは自分も思うし、住んでいる方に早く出て行けということにはならないだろうし、お金の面でこの値段で住まわせてもらっているならこれでいいというものもあると思う。一方で促しながら進めていかないと亡くなるまで一向に進まない。子育てしやすい町をスローガンに町長も上がってきていると思うが、それを考えると、西地区も農村地区を入れても50人に満たず、町内の出生数も100人をきっている。町だけの問題ではなく、農村部の小学校も含めた話になってくる。住宅など人口減少を極力減らす方策など、芽室は帯広の西側ということで有利な土地条件なので、そういった面でも早くそういった方策を考えていただきたい。その中に公園の設備も必要だと思う。公園も小さい公園とか大きい公園とか様々あると思うが、その辺も、今あるすべての小さい公園、児童公園や町内会の公園など、そういう部分も含めて考えていただいて、そういうのも再編していく必要があるのではないかと思う。

#### 【町長】

今後は、市街地に2つ小学校が必要なのかという議論も出てくると思う。公園で言うとイリス公園は新たな住宅地を開発したので、芽室西小・中学校の方が人数は伸びている状況。芽室小学校の方は南が丘や東めむろは宅地開発したが子どもの年代が高校生以上になっている。今は上美生小学校と南小学校の話になっているが、いずれ町内全体の学校のあり方を考えていかなければならない。

令和9年度から新たな総合計画になり、令和8年

から策定がスタートする。その時に、人口減少がどうなるのか、小中学生といった年少人口がどうなるのか、土地利用など、トータル的に見通していかなければならない。やや10年後の姿も総合計画の中で一定程度の方向性を出さなければならぬ。非常にありがたいご意見。そこに目を向けていかないと、何か急に起きた時に対応できなくなりかねないので、そういう計画づくりには着手していかなければならないと思っている。

#### (2)資料3について

#### 【参加者】

厳しい状況がずっと続いたままなのかなと思うが、これから新嵐山を新しくするにあたり、最終完成までまだこれから3~4年かかると思う。夏の利用について具体的な内容が示されていない。頂上に滞在すると書かれているが、頂上に滞在して次に何をするのかという点についてお聞かせ願いたい。

#### 【町長】

キャンプは一部やっているが、通年で稼げるような状況、そこは悩ましいし考えどころだと思っている。冬は雪があれば収益が上がってくるが、夏をどうするかがポイントになると思う。キャンプにもブームがあり今は下火になっているという話もあるが、オートサイトの復活といった話もあるし、キャンプにも種類があるのでその集客を見込めないかと思っている。夏のリフト運行については、資源なので上にあげたいと思っている。林道は車で上がって問題はないが、選択肢を広げてPRしながら展望台をクローズアップさせていきたい。そうすると目玉になるものやお金が稼げるものがないとだめになる。ここについてはこれから色々ご提案をいただきたいと思っている。特にソフト事業については夏の斜面でこんなことができるというのを、提案いただきながら上手く活用できたら。

通年と言っているが、夏場のリフトは平日はやらす土日やイベント時といった柔軟な運行体制を考えている。乗り場と降り場に人を雇って人件費もかかるので、平日もやるとペイしない。今考えているのは、例えばリフトでマウンテンバイクと一緒に上がって、マウンテン

バイクで斜面を降りるようなアクティビティなど、これから募っていききたい。今は夏場牧場として使っているが、今後光勇牧場に一元化しようと思っているので、斜面はまちのミライに通年で維持管理してもらおうと思っており夏の斜面も使えるようになる。グラススキーまでできるかは別として、その活用法も今考えている。冬に降雪機を使うときに草が伸びていると雪がつかないので、維持管理をきちんとしていかなければならない。キャンプ、ドッグラン、屋外遊戯施設を作るところまでは決まっているが、夏のアクティビティについては、これから考える。

#### 【参加者】

結構なお金をかけてランドデザインを作ってもらったが、そこまでだとランドデザインは何だったんだろうというの若干ある。下の活用方法は広がると思うが、リフトを夏冬活用する計画を立ててそこから先はまだということだが、3~4年後にオープンするためには一緒に考えていかないと。牧場をなくして指定管理者が斜面の整備まですると考えると、現状牧場だからあの程度でいいが、今の能力では山の上までは草は刈れない、とても危険な状況で草刈りをしなければならぬ。中間くらいまでは草を刈れると思うが、それ以上はやれないと思う。AコースとCコースは整備できるだろうが、Bコースは人海戦術でないといけない状況で冬場そのまま放置で雑木が生えると環境整備がどうなるのかと危惧している。牧場をなくすメリットとデメリットの両方を考えていかなければならない。夏もスキーというのは考えるべきことだと思うし、自転車についてもあの山全体を使って誘致して十勝・北海道・日本有数の聖地にするぐらいの構想を立ててもいいのかなと思う。それくらいであれば色々なところから来てくれるし、インバウンドも期待できるかもしれない。インバウンドが4000万人を超えているというが、そのうち芽室には何人きているのか、でもその人たちが優先にしたら地元の人たちはどうなるんだろうなということを含めた上で、山全体の計画を練ってほしい。下の構想自体はやれるまでやるなら賛成するし、もう少し関係者を寄せて立地や場所や向きはまだ考えるべきかなと思う。まずは頂上をどうするか、頂上以降の計

画をどうするか、牧場をなくした後どうするのか、どう活用してだれが整備するのかということまでを1年の間に明確にしていきたい。

#### 【町長】

今言えるところは先ほど申し上げたところまでだが、令和8年度以降設計に入って行くので考えていきたい。

#### 【参加者】

センターハウスとリフトの乗り口は、この状態で作るならばもう少し近い方が良いのではないかな。ここでもおそらくCコースから帰ってくるのが難儀。なかなか初心者向けではない。

#### 【魅力創造課参事】

位置についてはできるだけCに寄せており、これ以上Cコース側に寄るのは難しい。

#### 【参加者】

でっばった池の辺りはベストな位置だと私も思うが、それでも遠いなと思う。ツアーコースからおりてくるとこっちは遠くなる。第1リフトの際の木はそのままか。

#### 【魅力創造課参事】

支柱は撤去できないが、木を切って動線をよくすることはできると思う。

#### 【町長】

どちらをとってもリフトが1本というのは大原則なので。

#### 【参加者】

リフトが1本なのは良いと思う。エリアを全体でうまく使えるように。第1リフトの斜面もとてもいい場所。それをうまく生かせるようになるといいなと思う。新得も来年降雪機を入れるという話が聞こえてくる。忠類も水が懸念されているけどやりたいと聞く。めむろスキー場は管内でも来やすい1番いい場所。みんなが集える場所にしていただきたい。

【町長】

動線はしっかり考えたい。今時、降雪機がないと天然雪だけでは難しい。

【参加者】

どんどん雪が降らない世界になる。どこまでやるかということだと思いが。

【町長】

1本ではあるがリフトの架け替えを決断した理由は、第1リフトを10年使っていくと6億円かかるという話があった。今回は1本に限定すると4億5千万円ということで、長期的に考えて架け替えをするということで落ち着いた。

【参加者】

リフト会社も数少ない中で選定しないといけないと思う。外国製がふるまっているが危ないし、目先は半額くらいというが10年後どうなっているのか分からないので慎重に進めてほしい。

【参加者】

計画を見ていると突き抜けたものがない。展望台の景色の素晴らしさは誰も思っていると思うので、夏場に移動式サウナを置いてみるとか、本当は展望エリアで温浴あれば人が来るかなと思っている。芽室に来てもらう、行政チックではない何か尖ったものがあつたら面白いかなと思った。

【町長】

ランドデザインではこんなことあつたらいいよねというのを全部土俵に上げたが、今回の計画では私のイメージでは半減している。色んな提案・発想もあつたし、温浴施設のご希望は今でもあるので、そういう意味では突き抜けていない部分はあると思う。Park-PFIと違うのは、Park-PFIは民間資本が入るのでインシャルコストをおさえ年賦払いのように少しずつ払うという仕組みだが、新嵐山は町の単独費で一発で払わなければならないのでふれる袖が限られているということ

をご理解いただきたい。宿泊、温浴、レストラン、パークゴルフは(ランドデザインにはあつたが)今回落とさせてもらって、町として払っていける範囲で収めたというのが実態。今後は、ソフト事業でどういう魅力を高めていくかということや、民間活用ゾーンでの提案などを期待している。キャンプと温浴はセットというご意見はいただいているが、町として温浴やホテルをやる予定はない。資料P10にある民間活用ゾーンで、もし民間からそういった宿泊とかサウナとかそういった提案があれば、町として利活用の予定はないので、貸し付けや売却も考えている。いずれにしても町として運営や整備は考えていない。

【参加者】

展望台も民間がやれるのか。

【町長】

展望台は町で。

【参加者】

展望台で何かやりたいときは。

【町長】

それは町で。民間から提案があればイベント利用などはあり得るが、恒久的に建物を建てたりするのは無理かもしれない。イベントなど面白いことでできれば場所としてお貸しすることはできるかと思う。

【参加者】

自然を活かすという意味ではアヴァントは高額だがお金を払う人は一定数いる。少ない人かもしれないが、尖ったもので芽室に足を運んでもらってお金を落としてもらう必要はあると思う。

【町長】

ジップラインなども高額でも乗る。白馬は大ブランコなども。夏に特色を出しているところもあるので参考にはしたいが、整備費用もある。

【参加者】

観光地に行ったら飛び出しそうなくらい大きなブランコなんかがある。そんなにお金かからないのではないかなと思う。

【町長】

まずは展望台やトイレをしっかり整備することも大事だと思っている。飲食のご要望もあるが、ご承知の通り水が通っていないので課題になる。キッチンカーに上がってやってもらうのは構わないかなと思っている。座ってみられるような見晴台みたいなどころがないので、そういうものぐらいは整備してもいいかなと思う。

【参加者】

今の展望台はなくなるのか。

【町長】

改修するか解体するか。今いただただけでも色々な意見もあるので、案として色々な方から聞いてみたい。一方で管理運営する側もあるので、まちのミライとも十分話し合いながら進めたい。

【参加者】

夏はこんなのがあったらという提案について。釣り堀とかをやった方がいいのではないかと、子どもたちのために。夏も暑いので水で遊べる場所とか、スケートボードをやる場所とか、温泉がだめならドームサウナ、展望台でカフェをやるとか、いいのではないかなと。冬には阿寒の鶴雅みたいなバギーやスノーモービルなどアドベンチャー的なものがあるといいのではないかと。

【町長】

色々ご提案いただいたので検討させていただく。運営会社にも伝える。

(3)その他について

【参加者】

タクシーについて。こぼとハイヤーが20時までなので、個人タクシーに助けてもらっている。夜の飲んだ後の移動手段を民間に任せてこのままでいいのか。私は

お酒を飲むのが好きだが、20時に帰れと言われると、正直にここからだぞと思う。1次会の店は20時まででもいいかもしれないが2次会の店が困って廃れていく。現実はこの前も個人タクシーに連絡したら来てもらえないことがあり困ったということもあった。こぼとさんも帯広常駐でもいいが芽室へのケアもしてもらうようお願いや、民間なので支援は難しいかもしれないが何かしら対策をお願いしたい。私も芽室町内で飲食はしたい。冬場は特に農村の人も市街地に出るので、そういうところが何とかなれば私たちも行きやすくなる。

【政策推進課長】

芽室町地域公共交通活性化協議会という会があるが、夜間のタクシー運転手不足解消のために、2025年5月頃からタクシー会社が音頭をとって一般の人をドライバーとして雇用して、ちょうどまさにこれから2月からライドシェアの実証運行をしようとしている。あくまでも夜間のみだが、町内でドライバーとして手を挙げていただいた方が2名いて、こぼとさんに電話をかけて運転手が回れないときには、そのドライバー2名に連絡が入って、2名の中で対応していただくという仕組みを一旦やってみようということがスタートしたばかり。アプリなどのシステムや運転手さんの応募状況も含めて、今後定着できるかどうかというのが大きな実証実験になる。まずは始まったばかりであることだけお伝えさせていただく。

【町長】

今朝の新聞で新得でもライドシェアの事業をする記事を見た。私はほとんど2次会には行かないが、2次会に行くと足がないと言われる。足がないと特に農村部の人には来られない。ライドシェアがうまく実施できるようになればいいなと思っている。タクシー会社ではないのでその辺の心配や、住民同士で乗るのが嫌とかなると浸透して広がっていかないかなというものはある。

【参加者】

一種免許でドライバーができるのか。

【政策推進課長】

講習を受講すればドライバーになれる。基本的にはこぼとハイヤーという母体があるからできる。こぼとハイヤーと町が一緒になって地域公共交通活性化協議会でやっている。

【参加者】

車はその方の自家用車で法律的に問題ないか。保険の適用や車の整備は。

【政策推進課長】

車はドライバーの自家用車。協議会には運輸支局も入っていただいて申請してOKをいただいている。保険も加入して、車は個人で整備。もしかしたら知り合いだから乗りたくないと言われる可能性はあるが。

【参加者】

実証運行は2月から始まるということだが、こぼとさんが窓口になって「こういう方が行きます」という形になるのか。

【政策推進課長】

予約や支払はアプリでできる。アプリが高いので国の補助金を使って初めてできる。仕組みは残るので、成功すれば次のステップに行ける。

【町長】

上手くいって、お客さんもドライバーを請負ってくれる人も増えてくれるといい。

【参加者】

ありがたいという前提の話だが、除雪が過剰ではないかと思っている。今朝も早くから動いていて、ありがたいが「今日も(除雪)?」と思うことが結構ある。うちの前はいらなと思う。路線分けをして、実質住んでいるのは2軒で距離にして2kmある中で、そこを入れて往復して帰ると相当な時間と人件費がかかっていると思う。そういうところも見直してもいいのかなと思う。幹線なら分かるが、うちの前で今日も?という日が結構あるので、除雪の10cmというルールはどうなったの

かなとここ数年思っている。少しでも必要ないところは、1車線あいてればいいのかと思う。多分バス路線のついでだと思うが、バス路線だけでいいのかなと思いつているので、ぜひ実施してもらいたい。

【町長】

非常にありがたいご意見ではある。

【環境土木課長】

除雪の基準だが、除雪計画は毎年更新しているが、基本的には10~15cm積雪の場合に出動している。その他に、風によって吹き溜まりがあり、出動することが多くなっている。今朝については、昨日からの風が強く、パトロールした時に吹き溜まりを何か所か確認したので朝4時半から出動している。お話のあったとおり、スクールバス路線が優先で、ついでに回っている面もある。今おっしゃられたとおり、少し削減できるところは削減しながら考えていきたい。

【参加者】

道路の補修について。左に傾いているところが多い。亀裂があったり、直してもすぐだめになる。

【環境土木課長】

道路の整備について。路肩が傾いてしまって斜めになってくる。それにそってレール張りといって端だけ補修している。全面的に整備できない。どちらかというところと修繕・応急対応。ひどいところがあれば確認して優先順位を上げたりできるのでご連絡いただきたい。

【参加者】

もう少ししっかりした直しはできないか。そこまですぐとお金がないのか。

【環境土木課長】

全面的に直すとなると。順番にはやっちはいるが、優先順位があるので。

【町長】

どうしても対応としては上っ面のものを埋めるとか

そういう感じになるのは事実。路盤からやるとやれる長さが短いのでいつまでたっても完成しないというのが実際。全町的に要望もいただいている。我々が乗用車で走るとトラックで走るとでは全然違うと思うので、本当にここは危ないというところは言っていた方がしっかりやりやすいというのはある。この路線全部とかになるとできないが。直接言っていた方が解決は早いかもしれない。けっこうな距離をやるって何億円という世界になる。

#### 【参加者】

農地の関係。芽室町も2万ヘクタール以上ある中で農家が徐々に少なくなってきて、割り振りして賃貸や売買が入っているところもあるが、基盤整備されていない土地も数多くある。賃貸斡旋・売買となっても、買い手側が基盤整備をするにあたり、国の予算も国営事業も地域をまたがって20年から四半世紀ぐらいのパンでしか回ってこない。この地区も芽室町でありながら御影畑総の区域になっていて、清水の割り振りのまわりじゃないと基盤整備が入ってこない。そういう場合、買い手も自主施工しかできないとか、全面やるとんでもない金額になるので、やっぱり国営事業・道営事業に反映してほしいと思っている。その辺を町からも国営事業に基盤整備の方を集約と整備を、もう少し周りが早くなるように希望を出してほしい。

1戸あたりの土地面積が増えてくると、機械・トラクターの整備費用や購入費用が高騰している。ある程度助成金などがあると導入もしやすくなる。以前ポイント制の基金化したものがあったが申し込みから申請までの期日が非常に短く手が付けられなかった。もう少し期間を長くするなど取得しやすいシステムに。個人と法人がそれぞれ手を付けやすいような状態にしていたらとありがたいので、その辺も含めて要望していただきたい。

#### 【農林課長】

基盤整備の話について。この地区は昭和50年から平成10年くらいまで御影地区のパイロット事業ということで畑総事業と言われるものをやって、それ以来もう事業完了してから手がついていないような状況にな

っていると思う。その辺も内部では違う人からもお話をいただいた中で、気候が昔と今では変わってきているので、例えばリールマシンなど、昔はいらなかったけど今はほしいという方もいらっしゃる。その辺の話も国や道に要望していきたい。

機械の整備・購入関係。国の事業も色々な補助メニューの中でポイントが足りる・足りないという話もある。募集の短さは自分たちも困っている。お互いに本当に必要な方に当たらないのは困るので、町としても要望は今もしているが、農政事務所などを通してさらに強く言っていきたい。

毎年国の補助メニューが変わり、どの事業が対象かなというのもあると思うが、相談いただければ、町としてもしっかり把握した中で進めていきたいと考えている。

#### 【参加者】

美生ダムの灌漑用水はリールマシンを入れて散水できる体制だが、御影畑総は飲料水と兼ねた農業用水。水はきれいで飲み水としてもそのまま飲用できるが、農地灌漑についてはまったくそっぽを向かれたような地域。こういう時代になってきたから余計に、農作物の夏の対策には打撃が大きい。同じ料金を払って、あつちはやれてこっちはやれないんだなどというのも残念なところがあるので、拡大の可能性が見えないが、こちらの地区も含めた要望を推し進めていただきたい。

#### 【町長】

申請期間が短い話については、補正予算で対応していることが要因の1つと考えられる。農業予算の3割ぐらいが補正予算。それはおかしいので、高市総理も当初予算でと言っている。年間で申請も含めたスケジューリングにしないと、たぶん彼らも厳しいと思う。国から急に通知が来て切羽詰まった状態でやっていると思うので、そこは変えてほしいというのはある。できるだけ迷惑をかけないように当初予算からやっていくということも含めて要望していきたい。

#### 【参加者】

消防車の水で、畑に水を撒くのはできないか。空い

ている時間に部分的に。

【町長】

平成28年の災害の時は水がなかったので、緊急的に消防車を使って水の配水をした。消防車には消防車の目的があるので、農地にまくというのは通常はできないと思う。災害があったので消防車を使ったという形であることをご理解いただきたい。

国営に上手く乗れるのであれば国営を何とか引っ張ってくるといことになるが、数十億円になってくると思う。国営で地域全体でやるので50億円とか60億円、水道だけで40億円とかになるので非常に悩ましい。国営なので町が全部負担するわけではないが、とはいえ10%出しても4億円で、自己負担も出てくる。1億円かかると1000万円は自己負担。管路もお金がかかるし、財源規模も大きいけど、要望はかけていきたい。なお、水を撒く方ではなく、湿った土地の配水ということであれば、ピンポイントで土地改良事業でやれるという制度はある。道営事業よりはちょっと負担が上ってしまうが。

【参加者】

芽室公園について。焼肉スペースは考えているか。

【町長】

今はない。あずまやはあるが。

【参加者】

美生のかっこうみたいに車庫みたいな雰囲気でも簡単に利用できるような場所があれば。あと夏の祭りにビアガーデンを導入しないかなど。そのためには屋外のスペースがあれば理想だなと。

【町長】

絶対にできるとは言えないけど、昔、新嵐山でも焼肉コーナーがあった時期もあった。そういうことも検討の1つも入れた方がいいかなと。ビアガーデンはまちなかで民間の方がやってくれたことはあったけど、そういう事業者が現れれば、イベントとして何か用地とかをお貸しするということはあるかもしれない。

【参加者】

芽室の屋上で一番広いところはどこか。

【町長】

あまり思い浮かばない。

【魅力創造課参事】

昔めむろ一どの2階南側のテラスが出ているところでやったことがあるかもしれない。



15時02分終了